


NHK ではデジタル放送のデータ放送を利用して、河川の水位・雨量の情報を提供しています。

【気象庁】
http://www.jma.go.jp/jma/index.html
気象庁では気象予報のほか、レーダによる降水状況などの情報を提供しています。
(出典:気象庁ホームページより)



【国土交通省 防災情報提供センター】
http://www.mlit.go.jp/saigai/bosaijoho/
＜携帯サイト＞
http://www.mlit.go.jp/saigai/bosaijoho/i-index.html
【国土交通省 XバンドMP レーダ雨量情報】
http://www.river.go.jp/xbandradar/index.html



視聴方法


- NHK放送画面の時に、リモコンの「a」ボタンを押す
- TOPメニューの「生活・防災情報」を選んで決定ボタンを押す。
- 「河川・雨量情報」を選んで決定ボタンを押す。
- 受信機に登録されている郵便番号を判別し、お住まいの地域の雨量情報が表示されます。



【大阪府 洪水リスク表示図】
http://www.river.pref.osaka.jp/
地先における河川氾濫や浸水の可能性を確認できます。



【大阪府都市整備部河川室河川防災情報】
http://www.osaka-kasen-portal.net/suibou/
春木川流域の雨量、春木川の水位状況を確認できます。




【おおさか防災ネット】
http://www.cds.osaka-bousai.net/pref/index.html
緊急情報、避難勧告・指示、地震津波情報などを提供しています。




防災情報を携帯電話で入手できます。
下の QR コードを携帯電話で読み込むか、下記アドレスを入力し、空メールを送信してください。

川の防災情報

雨雲の動きや全国の川の水位などの情報を携帯電話で入手できます。
http://i.river.go.jp/
直接アクセスしてください



大阪府河川情報

身近な河川の水位や雨量の情報を携帯電話で入手できます。
http://www.cds.osaka-bousai.net/suibou/mobile/index.html
直接アクセスしてください



防災情報メール

地域に発令された警報・注意報、避難勧告など、防災情報をメールで携帯にお知らせします。
touroku@osaka-bousai.net



春木川水系河川整備計画（変更原案）の詳しい内容について知りたい方は

- (1) 以下のホームページに掲載しています。
- 大阪府河川室 (アドレス http://www.pref.osaka.jp/s_kasen/)
 - 大阪府岸和田土木事務所 (アドレス <http://www.pref.osaka.jp/kiishi-do/topics/index.html>)
- (2) 以下の場所に資料を備えています。
- | | |
|---------------|---------------|
| 大阪府 府政情報センター | 大阪府 河川室 |
| 大阪府 岸和田土木事務所 | 岸和田市 道路河川課 |
| 岸和田市 広報広聴課 | 岸和田市 桜台市民センター |
| 岸和田市 春木市民センター | |

閲覧と意見募集期間は、
1月9日(金)から
1月23日(金)まで

ご意見はこちらまで

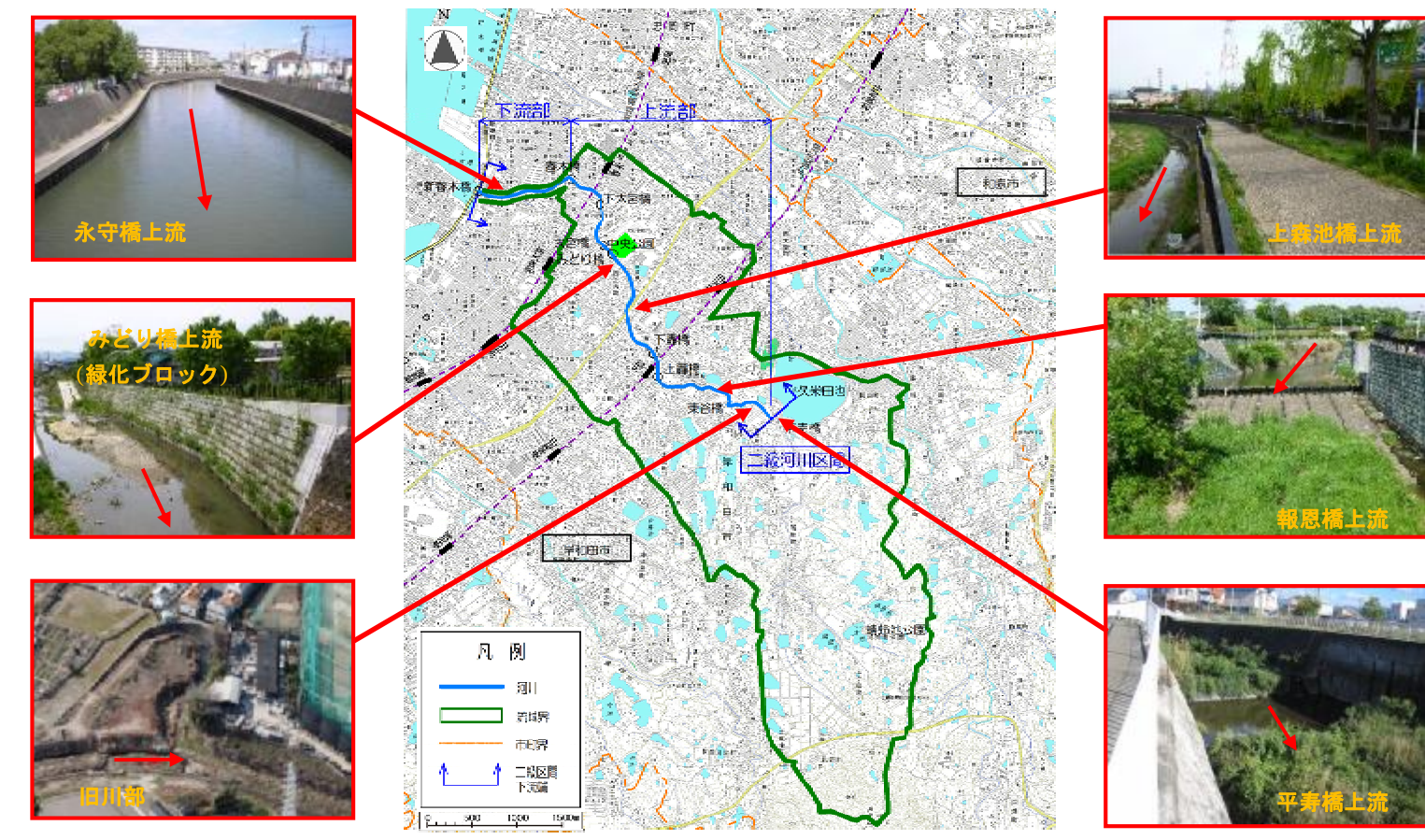
《郵送・FAX の場合》
〒596-0076
大阪府岸和田市野田町 3 丁目 13-2 泉南府民センタービル内
大阪府岸和田土木事務所河川砂防グループ あて
FAX 072-422-9705

《電子メールの場合》
メールアドレス kiशिwadadoboku-g03@gbox.pref.osaka.lg.jp
(大阪府岸和田土木事務所河川砂防グループ あて)

いただいたご意見を踏まえ河川整備計画の対応方針の検討を進めてまいります。

春木川流域について

流域市町：岸和田市	春木川流域内に約55カ所のため池がある
指定区間延長 5.7km	流域内の土地利用は、宅地の占める割合が高く、上流域には歴史的資産がある
流域面積 14.4km ²	



凡例

- 河川
- 流域界
- 市界
- 二級区画下流域

Photograph labels: 永守橋上流, みどり橋上流 (緑化ブロック), 四河川部, 上森池橋上流, 報恩橋上流, 平寿橋上流

今後の治水対策の進め方 (H22.6策定)

【基本的な理念】人命を守ることを最優先とする。
【取組み方針】

- (1) 現状での河川はん濫・浸水の危険性に対する府民の理解を促進する。
- (2) 「逃げる」「凌ぐ」施策を強化するとともに、「防ぐ」施策を着実に実施する。
- (3) 府民が対策の効果を実感できる期間（概ね10年）で実現可能な対策及び実施後の河川はん濫・浸水の危険性をわかりやすく提示する。

【当面の治水目標（今後20～30年）の設定】

○時間雨量50ミリ程度*1の降雨で床下浸水を発生させない。かつ、事業効率等を考慮し時間雨量65ミリ程度*2もしくは時間雨量80ミリ程度*3の降雨で床上浸水を発生させない。

【河川情報の提供】

○住民が的確に避難行動がとれるよう、河川氾濫や浸水に対する情報提供に努める。

※1 時間雨量50ミリ程度の降雨は、10年に一度発生する恐れがある降雨
※2 時間雨量65ミリ程度の降雨は、30年に一度発生する恐れがある降雨

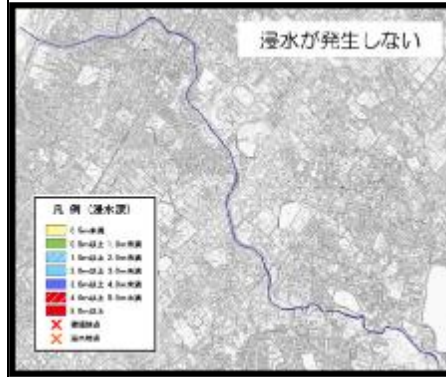
将来目標（長期計画）

○府管理の全河川について、時間雨量80ミリ程度*3の降雨でも、川があふれて、家が流され、人がなくなるようなことをなくす。

※3 時間雨量80ミリ程度の降雨は、100年に一度発生する恐れがある降雨

現状の春木川で・・・

時間雨量80ミリ程度の雨が降った場合



時間雨量90ミリ程度の雨が降った場合



春木川は、現状で時間雨量80ミリ程度の降雨を安全に流下させることができることから、現状の治水能力を維持。

春木川の氾濫シミュレーション

計画を越える規模の降雨が発生する可能性がある

総合的・効果的な治水手法の組み合わせ

流出抑制

雨が降っても河川へ出る水量を減らす。
(家庭での貯留施設の設置やため池の治水活用など)

治水施設の保全・整備

河川堤防の決壊によるはん濫をできるだけ回避するなど、河川を流れる水は可能な限りあふれさせない。
(河川改修・堆積土砂除去など)

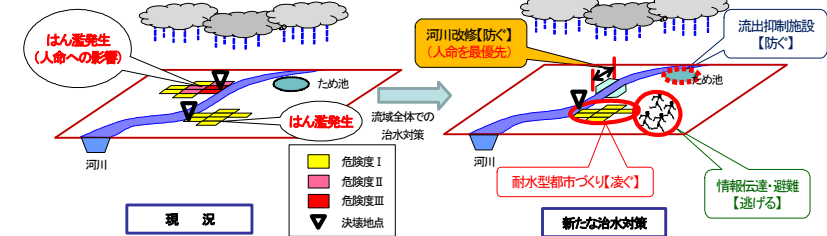
耐水型都市づくり

河川からあふれても被害が最小限となる街をつくる。
(家屋の耐水化・高床化などの促進)

情報伝達・避難

河川からあふれそうなきときはできるだけ早く逃げる。
(洪水はん濫・浸水による危険性の周知、避難体制づくりの促進など)

<流域全体の治水対策イメージ>



「防ぐ」ための・・・

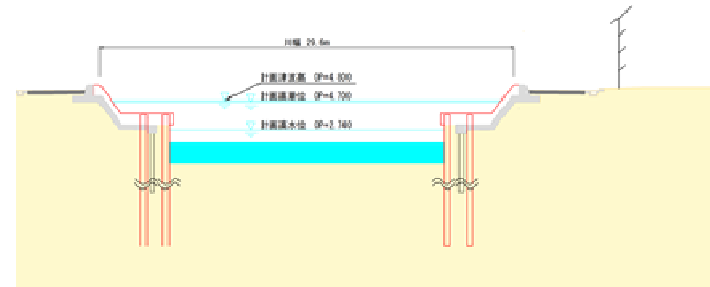
河口から春木橋にかけての高潮対策区間については、今後近い将来に発生が予測されている東南海・南海地震及び南海トラフ巨大地震を対象とした地震・津波対策として堤防の耐震対策を実施します。

河川整備（地震・津波対策）

鋼矢板を打設し、既設護岸と一体化したコンクリート擁壁護岸となる護岸補強を行います。その際には、単調なコンクリート構造物が連続することから、周辺の住宅地の景観との調和に配慮します。



整備断面例 (0.3km付近)
(河口～春木橋)
整備延長：L=約1.0km



河川の維持管理

- 堤防や護岸などの河川管理施設の定期点検や緊急点検の実施
- 地先の危険度など考慮して優先順位を決め、計画的に維持管理を行う
- 土砂堆積や植生繁茂を定期的に調査
- 河川管理施設の被災時には応急対策を実施し、出水後に速やかな機能回復を実施
- 許可工作物（取水堰や橋梁）などについても河川管理施設と同等の点検・補修を行わせるなどの指導
- 定期的な河川パトロールを実施し、違法な耕作や工作物の設置についての監視
- 不法投棄によるごみは、適宜回収



河川環境の整備と保全

上流部では、中央公園や旧川部等で、親水性に配慮した整備を行います。

①中央公園区間
整備延長：L=約90.0m



階段やスロープを設置し、公園と一体となった親水広場として整備を行います。



②旧川1区間
整備延長：L=約40.0m



③旧川2区間
整備延長：L=約30.0m



川に接することができる広場として、緩傾斜の法面の配置など親水性の向上を図ります。

地域や関係機関との連携

- ため池の雨水貯留機能の保全（ため池管理者や関係団体）
- 道路、公園、学校グラウンド等を利用した雨水貯留施設の設置（施設管理者）
- 住宅等の開発行為に伴う調整池の恒久化（開発事業者）
- 農地・森林の保全（水源涵養、保水機能）
- 建物の耐水化、土地利用の誘導（河川氾濫時、流水時）
- 各戸貯留施設の設置（地域住民への啓発活動）
- 情報提供（地域住民 泉佐野市、熊取町）
- 河川愛護活動への支援（地域住民、NPO）
- 地域住民やNPO団体と河川環境の保全・再生・美化活動など連携した維持管理の実施

